



地元産米を使った
愛津せんべいを手にほほえむ
平本課長

推し の一品!!

6月号

JA県央愛川

愛津せんべい

米どころのうまさ凝縮

くせになるとは、まさにこのこと。カリカリの歯ごたえと、絶妙な甘塩（あまじょ）っぱさに、際限なく手が袋に伸びる。地元でしか手に入らない愛川町の名物「愛津せんべい」。味が良く染み込んだ固焼きの割れ煎餅は、一度食べたら忘れられない逸品だ。

誕生したのは今から5年ほど前。JA県央愛川指導経済課の平本康課長によると、「目立った特産品が少ない愛川町に何か生み出せないか」との思いが出発点だった。

学校給食にも出されるほど稲作が盛んな土地柄に着目。お隣の相模原市緑区の一部を受け持つJA神奈川つくいと手を携え、試行錯誤しながら共同開発した。今は同じ商品名を冠しながら各JAが別々に製造・販売し、JA県央愛川の「愛津せんべい」は町内産のうるち米100%を使っている。

収穫後にライスセンターでの作業過程で出る、味は確かなものの形がふぞろいで、商品にはならず売りに出せない米を活用しているのも特徴だ。これをJA県央愛川で買い取り、煎餅に加工することで、農家の所得向上につながるるとともに農産物の使い切りにも結び付けている。

平本課長は「購入された方からは大変好評の声をいただいている」と話す。SDGs（持続可能な開発目標）の一環としてフードロスをなくすのにも一役買っていただき一石二鳥だ。

販売場所はJA県央愛川の直売所「ふれあい旬鮮市」の2店舗と、支所・出張所の5カ所。1袋100^g入りで340円。インターネットでの扱いはないのでご注意ください。愛川町特産のお茶と一緒にご賞味いただきたい。

JA県央愛川
所在地：愛甲郡愛川町
中津747
☎046-286-2111



JA県央愛川HP

こちらも
随時更新中！
ぜひご覧ください！



JA県央愛川
Instagram